

# とだ

# 議会だより

わたしがつなく、戸田の未来。  
**50th**  
戸田市  
市制施行50周年  
戸田市は平成28年10月1日に  
市制施行50周年を迎えます。

やさしいまちに、なりたい。  
**特別号**  
No.192  
2016年(平成28年)9月15日

## 戸田市市制施行50周年記念



■この表紙は、過去に発行した議会だより(No.1~No.191)の表紙を集め、編集したものです。

# 戸田市議会50年のあゆみ

## 年表



戸田町を市とする旨の議案を審議する戸田町議会



創刊された「とだ議会だより」



★平成元年2月



★平成5年2月



初優勝を飾った戸田市議会クルー

昭和41年 6月 戸田町議会、市制施行を議決  
10月 市制施行  
(県下24番目、全国561番目)

11月 市議会では東北・上越新幹線の市内通過に対する反対意見書を関係機関に提出

48年 3月 とだ議会だより創刊

6月 国保10割(世帯主)給付を含む条例一部改正案を賛成多数で可決

49年 4月 新幹線反対埼玉県南三市連合会(三市連)発定

51年 8月 三市連、新幹線計画の完全撤回を決議

54年 12月 戸田、浦和、与野市議会新幹線建設容認を議決

55年 4月 通勤新線、市内3駅が決定

57年 2月 東北新幹線・通勤線工事起工式行われる

59年 8月 中国開封市と友好都市締結

60年 6月 土地開発公社用地交換に関する調査特別委員会(百条)設置(昭和62年9月)

9月 埼京線開業

62年 12月 国保世帯主10割給付の見直し(16対11の賛成多数で可決)

平成元年 2月 議員定数「30人」を2人削減し「28人」に

4年 10月 オーストラリア・リバプール市と姉妹都市提携

12月 埼玉県美里町と姉妹都市提携

5年 2月 静岡県戸田村と姉妹都市提携(平成17年4月、静岡県沼津市への編入合併に伴い解消)

4月 福島県大信村と姉妹都市提携(平成17年11月、合併により福島県白河市となる。その後、平成19年1月に白河市と友好都市締結)

11年 9月 全国市町村交流レガッタ戸田大会、議員の部優勝(その後2回優勝)

14年 3月 8日に「合併・政令指定都市調査研究特別委員会」設置の動議を、13対13可否同数のため、議長裁決で可決。しかし、27日に同特別委員会廃止の動議が提出され、13人退席の後、残った14人の全員一致で動議を可決

14年 7月 県南都市問題協議会(川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市の全議員で構成)で市民意識調査を実施。戸田市民の合併反対は約73%

15年 2月 議会改革特別委員会を設置



★平成9年2月



リバプール市主催の姉妹都市調印式(平成5年2月)



埼京線戸田駅の開駅式



議員だけによる開封市訪問(昭和60年10月)



新幹線建設容認を議決した日の議場風景



★平成13年2月

市制施行 50 周年の主な記念イベント

事業名	日 時	開催場所
全国市町村交流レガッタ戸田大会	9月17日(土)、18日(日)	戸田ポートコース
「新・BS日本のうた」公開録画	9月22日(木・祝) 開演:午後6時40分	戸田市文化会館ホール
とだ50祭(さい)	10月1日(土) 午前9時30分～午後8時	戸田市役所周辺
市制施行50周年記念式典	10月1日(土) 午前10時～	戸田市文化会館ホール
高校生議会(戸田市議会主催)	10月30日(日)	戸田市役所議場

23年 3月 東日本大震災 戸田市震度5強 (議場の天井・壁面が一部落下)  
市議会として初めての駅頭募金活動を行い、被災地に送金

24年 1月 議会モニターを公募により委嘱  
2月 議会基本条例の制定  
6月 会派別の政務調査費(現・政務活動費)収支状況をホームページ上で公開  
8月 全委員会・全員協議会の原則公開  
12月 議員別採決状況・議決結果一覧をホームページに掲載  
25年 4月 費用弁償を日額「3千円」から「1500円」に減額  
26年 2月 議会における情報通信機器の使用基準を制定(議場及び委員会室等へのパソコン・タブレットの持ち込みを認める)  
6月 自治基本条例を可決  
9月 本会議での傍聴者への議案書等の貸し出し  
12月 議案書・予算書等をホームページで公開  
27年 8月 議会懇談会(議会と市民団体等)実施要綱を制定  
28年 10月 市制施行50周年



手塚静枝議長



インターネットライブ配信開始

15年 12月 定例会中の常任委員会を公開初めての議員提出による政策的条例「みんなでつくる犯罪のないまち条例」を可決(その後、委員会提出による政策的条例3件を可決)

16年 4月 政務調査費、領収書写しを添付。使途基準を明確化  
6月 一般質問を二問一答方式に変更  
17年 2月 議員定数を1人削減し「27人」に  
18年 6月 本会議中継をライブ配信  
19年 9月 議員信条の制定  
議員報酬等の特例に関する条例制定(長期間、議員活動ができない場合の報酬減額等を規定)  
20年 2月 議会選出委員の附属機関からの引き揚げ  
4月 政務調査費の収支報告書提出書類を「領収書の写し」から「原本」に改正  
21年 2月 議員定数を1人削減し「26人」に  
3月 常任委員会が1年間の活動テーマを定めて、毎月1回の委員会を開催し成果として条例の制定、あるいは提言書の提出  
12月 本会議中継を録画配信  
22年 2月 戸田市議会初の女性議長誕生(23年2月)  
23年 2月 議長の所信表明会を実施

【委員会 年間活動成果】

- 総務委員会
  - ・(仮称) 戸田市自治基本条例制定に向けての提言(その1)(その2)
  - ・行政IT化による効率性と経済性についての提言
  - ・新地方公会計制度導入にあたっての提言
  - ・公契約のあり方についての提言
  - ・戸田市地域防災計画及び防災マニュアル策定に係る提案
  - ・防災のまちづくりについての提言
  - ・防災への取り組みについての提言
  - ・公共施設の適正な管理・運営についての提言
  - ・官民共同で進める公共施設整備のあり方についての提言
- 文教・建設委員会
  - ・自転車の似合うまちづくりに向けての提言
  - ・マンション政策のあり方についての提言
  - ・電子図書館の導入についての提言
  - ・空き家条例制定に向けての提言
  - ・図書館クリスマスイベントの開催(3回)
  - ・自転車レーン及びゾーン30等についての改善要望
  - ・また来たいと思わせる図書館に向けての提言
  - ・いじめ・不登校等に関する課題の解決に向けた提言
- 健康福祉委員会
  - ・高齢者が元気でいきいき活躍できるまちづくりに向けての提言
  - ・市民医療センターにおける経営の効率化とよりよいサービスの提供に向けての提言
  - ・高齢者の生活を豊かにするICT技術の活用についての提言
  - ・スマートウェルネスシティの取り組みについて～市民の健康を守る取り組み～の提言
  - ・健康寿命の延伸と国民健康保険財政の健全化を目指して
  - ・学童保育の充実についての提言
- 市民生活委員会
  - ・戸田中小企業振興条例
  - ・戸田市民みんなで守ろう自転車の安全利用条例
  - ・戸田市地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた提言
  - ・再生可能エネルギーと環境に配慮したまちづくりに向けた提言
  - ・地域コミュニティの活性化と市民活動支援に関する提言
  - ・戸田市スポーツセンター屋内プールの早期再開に向けての提言



★平成 17年 2月



★平成 21年 2月



全議員が市内3駅に分かれて募金活動を実施

信頼される議会めざして

議会基本条例を制定しました

議員間討議で 議会の意見集約へ

とだ議会だより No.172

議員が市内3駅で配布



★平成 25年 2月



**中山 祐介 議員**  
市制施行50周年お祝い申し上げ

ます。誰も予測できない未来ですが、過去と今の延長線上にあることは間違いありません。過去から学び、未来に希望が持てるよう、力を合わせて今を歩みましょう。



**馬場 栄一郎 議員**  
2060年の日本の人口は今

の7割、8700万人、65歳以上の老年人口割合が4割になる予想がされている。戸田市も同様。若い若きも全てが支え助け合い、感謝に満ちた協働の街になっている。



**金野 桃子 議員**  
市制施行50周年おめでとうござ

います。育てていただいた戸田市で市議会議員の責務を賜ったことに深い感謝と責任を感じています。戸田での取組みがいつか日本の未来につながるよう一生懸命頑張ります。



**細田 昌孝 議員**  
先人の方々が築き上げたこの

50年。これから我が戸田市を担う子供たちに、夢と希望、そして感動を与え続けることが大事である。住みよいまちづくり、そして、まち・ひと・自然の共生社会へ向けて。



**竹内 正明 議員**  
市制施行から半世紀という、

大きな節目を迎えました。これからの戸田市の未来、どんなに時代が変わっても、市民の皆様と一緒に、「いつも笑顔で」新たな戸田市を構築してまいりたいと思います。



**石川 清明 議員**  
「わたしがつなぐ、戸田の未来」の一人として、住みたい

まちNo.1・元気なまちNo.1、そして「ふれあいのまち戸田」を目指し、市民の皆さんとともに、戸田市の未来に向けてまい進してまいります。



**榎本 守明 議員**  
戸田市は埼玉県内で「住みよ

い街」と評価をいただいております。これからも、過去を踏まえ現在を見つめ未来を見据えながら、活力と魅力を創出し、いつの日か日本に誇れる戸田市を目指しましょう。



**高橋 秀樹 議員**  
50年の中で、戸田市は埼京線の

の開業で大きく発展しました。昨今は時代の流れが速く、発展・衰退するものがありますが、時代は変わっても歴史や伝統ある文化は後世に引き継いでもらいたいものです。



**酒井 郁郎 議員**  
戸田市は一層、市民が中心にな

って運営されていくであろうし、そうあるべきだ。行政は市民が活動するための「場」となり、支援を行う「インフラ」としての役割を担う機関への脱皮が求められる。



**手塚 静枝 議員**  
輝かしい50年の佳節、おめで

とございます。さらに発展し続ける戸田市に期待いたします。戸田市の未来を託す子供や青年たちに、生まれ育った町が最高と実感できる、魅力ある戸田市を創造します。



**秋元 良夫 議員**  
市制施行50周年、おめでとう

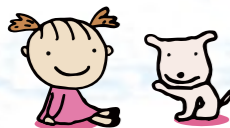
ございます。記念誌の発行に関わることができて、うれしく思います。戸田市は今後も発展し続け、もっと良いまちになると確信しております。



**熊木 照明 議員**  
50周年、心よりお喜び申し上

げます。私が生まれ育った戸田市は、多くの先人の大きな力で成長を成し遂げ、さらに今後、多世代にわたり安心・安全で緑豊かで笑顔あふれる住み続けたいまち、戸田市へ。

# 戸田市の未来に向けて



## 現職議員からのメッセージ



**三輪 なお子 議員**  
あらゆる世代が明るく元気に

活躍できる戸田市に！一人に寄り添う気持ちを大切に、子育てと仕事の両立支援、介護予防の充実など、市政・地域の課題解決に一生懸命に取り組んでまいります。



**本田 哲 議員**  
市制施行50周年を、戸田市で

生まれ育った市民として、また、議員として迎えられることを、うれしく思います。老若男女問わず、「市民のまち・戸田」として愛されるまちにしていきたいと思えます。



**菅原 義雄 議員**  
戸田市の人口は平成35年をピークに減少が予想され、少子高齢化が急速に進むと言われております。人口構造の変化を抑制するため、「住み続けたいまち」として魅力ある住環境を進めてまいります。



**真木 大輔 議員**  
戸田市の子供たちへ。自分の感性に自信を持って、人とのつながりを大切にして、そして新しい時代をつくっていただく。みんなに未来を託せる戸田市であるように、私たちも頑張ります。



**遠藤 英樹 副議長**  
古くから戸田の渡しで人と人との「縁」をつないできた私たちは、今もたくさんの人たちが「縁」を育み旅立つまち。世界中で戸田市を愛する人たちが活躍する未来に向けて、50歳おめでとうございませう！



**伊東 秀浩 議員**  
戸田に生まれ68年。この間、このまちは目覚ましい発展を遂げてきました。子や孫たちにツケを残さず、安心して暮らせる「日本一住みよい戸田市」を目指し、これからも頑張ってまいります。



**花井 伸子 議員**  
埼京線開通以来、急激な都市化で人口も約2倍になりました。市民憲章にある「話し合い、助け合いの輪を広げ、住みよい環境をつくる」ため、みんなで耕し、種を植え、「思いやりの花」を咲かせたい。



**望月 久晴 議員**  
埼京線の開通以来、戸田市はマンションの建設が進み、人口がふえ続けていますが、戸田市の未来は、調和の人口構成のもとに、緑豊かな、福祉・教育・文化都市にしたいと思えます。



**三浦 芳一 議員**  
生まれも育ちも生粋の「戸田っ子」として、真剣に戸田市の未来を考え、福祉、教育、文化・スポーツ、子育て、環境、防災・防犯施策の拡充で、本場に住みやすい、安心・安全な街づくりを目指します。



**山崎 雅俊 議員**  
今後予想される人口減少社会に向けて、さらに充実した福祉施策が必要となります。財政もますます厳しくなっている中、未来に向け市民行政・議会が三位一体となって取り組むことが大切です。



**栗原 隆司 議員**  
今日私たちが豊かで平穏な生活を送れるのは、先人たちが築いた英知を糧に努力されてきたおかげです。戸田市の未来が、本市の持つ大きな潜在力を生かし、さらなる成長都市の実現を願ってやみません。



**石井 民雄 議長**  
今思うと、荒川河川敷で遊んだり、小川でフナやドジョウ、そしてコイやウナギをとったことが懐かしいです。またいつか、そうした時代がよみがえる河川環境が戻ればよいと願っています。

# 50周年おめでとうございます ～お祝いのことば～

## 細田 米蔵 待遇者会(議員OB)会長



市制施行50周年、そして、議会だより特別号の発行、誠に  
おめでとうございます。

振り返りますと、この半世紀、今日の繁栄に至る最も大きな礎となる出来事は、新幹線いしずえ通過とそれに伴う埼京線の開通ではないかと思ひます。

昭和46年、東北・上越新幹線の市内通過が示され、その後、8年にもわたる反対運動、条件闘争を経て、私が議長職にあった昭和54年12月、ついに市議会において、通勤新線導入や環境空間設置などを条件として新幹線建設の容認が決議されました。

その後、戸田市は文字どおり目覚ましい発展を遂げ、今や、県下一の若さと財政力を誇る、交通至便で、魅力あふれる都市となりました。

結びに、戸田市の限りない発展と市民の皆様の末永いお幸せを心よりご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

## 石井 民雄 戸田市議会議長



市制施行50周年をお祝い申し上げます。戸田に生まれ育った私が50年を振り返ってみますと、昭和60年代のバブル経済成長期を頂点に、戸田市は目覚ましい発展を遂げてまいりました。昭和60年、埼京線開通に伴う市内3駅の誕生で人口も急増し、平成27年度の国勢調査でも、戸田市は県内一の人口増を記録し、また、平均年齢も39.6歳という県内一若い町でもあります。高齢化率も若さに比例し15%台と、他市町村に比べ抜きんできております。

その反面、課題も多く、あらゆる視点でそれらの解消に取り組み、「幸せを実感できるまち とだ」の実現を目指し、議会も取り組んでまいります。

今後、60年、70年、100年と、住んでいてよかったまち「とだ」、住みたくなるまち「とだ」を目指してまいります。

(題字「とだ」執筆)

## 高橋 光雄 白河市(友好都市)議会議長



市制施行50周年、誠に  
おめでとうございます。

御市は財政指標のどれをとっても優れており、人口増加率が高く、しかも平均年齢は若いという大変な強みを持っており、さらに公共交通網が整い、印刷

関連業や流通産業などを中心とする産業も活発で、将来にわたって持続可能なポテンシャルの高いまちと伺っております。しかし、全国的には人口の減少や少子高齢化が課題となっており、各自治体では地方創生への具体的取り組みが進められようとしております。

私ども白河市も例外でなく「白河市みらい創造総合戦略」を策定し実行しておりますが、議会としても引き続き貴議会と情報交換させていただきながら、将来にわたり持続可能な行財政運営の実現に努力をしていく所存であります。

結びに、戸田市のますますのご発展と市民の皆さまのご清祥をご祈念申し上げ祝辞といたします。

## 櫻沢 克幸 美里町(姉妹都市)議会議長



このたび、市制施行50周年を機に、議会だより特別号が発行されるに当たり、心からお祝いを申し上げます。

今日、多くの地方自治体が人口減少にある中で、平均年齢が県内で一番若い13万人都市として成長発展された戸田市と姉妹都市として交流を持てることに、心から敬意を表するものであります。

当町との歴史を顧みますと、平成4年に姉妹都市の締結をして以来、各分野におきまして多くの町民が参加し、多種にわたる交流により成果を上げてまいりました。

この間、議会も、議会制度や議会運営のあり方について、新たな情報収集や意識交流に結びつくことができたものと確信しております。

結びに、戸田市議会のさらなる発展と議員各位のご健勝でのご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。